

日本原子力学会 標準委員会 発電炉専門部会
確率論的安全評価（レベル1及びレベル2）分科会
第16回 レベル2PSA作業会 議事要旨

日時：平成17年6月15日（水） 13:30～17:20

場所：原子力安全基盤機構 第11C会議室

出席者：

委員 梶本，住田，立岩，石川，大野，大橋，加藤，倉本，谷川，濱崎，佐藤（久持代理），山越 12名（欠席 日高）

常時参加者 荻野，川端，舟山

事務局 太田

配布資料：

P4WG16-1 第15回作業会議事要旨（案）

P4WG16-2 レベル2PSA標準（案）

P4WG16-3 解説3

P4WG16-4 解説8

P4WG16-5 解説9

P4WG16-6 解説15

P4WG16-7-1 濱崎委員コメント

P4WG16-7-2 立岩委員コメント

P4WG16-7-3 山越委員コメント

P4WG16-7-4 大野委員コメント

議事概要

議事に先立ち、主査より委員12名が出席しており、本会議が決議に必要な定足数を満たしていることが報告された。

1) 前回議事要旨確認（P4WG16-1）

特にコメントなく承認された。

2) 今後のスケジュール

事務局より、今後のスケジュールについて紹介があった。レベル2PSA標準は地震PSA標準とともに8月のお盆明け～9月初旬に開催見込みの発電炉部会で最終報告後、決議投票を行い、9月末までに開催予定の標準委員会で本報告の予定。

レベル2PSA標準（案）は、6月16日のレベル1&2分科会で審議してもらい、発電炉専門部会への最終報告を承認してもらう。

3) 標準・解説（P4WG16-2～7）

以下の議論が行われた。

3.1 レベル2PSA標準とレベル1PSA標準との整合

3.1.1 標準のフォーマット及び内容 前回の発電炉専門部会でレベル1PSAの最終報告が討議され、今後、大きな変更は無いと思われるので、レベル2PSA標準とレベル1PSA標準のフォーマット及び記載内容の統一を進める。

a) 標準本体のフォーマット レベル2PSA標準の表記を次のとおりに変更して、レベル1PSA標準のフォーマットに揃える。

行 3.1 タイトル 文章

タイトル 文章

タイトル 文章

正 3.1 タイトル 文章

.1 タイトル 文章

タイトル 文章

タイトル 文章

b) 標準の内容 レベル2PSA標準の「12 文書化」の内容を、レベル1PSA標準と一致させる。ただし、レベル1PSA標準の「----までの各具体的要求事項で許容されている-----」の文章で「各」は、不必要とのコメントを分科会で伝える。

3.1.2 定義 レベル2PSA標準の「定義」で、レベル1PSA標準と表現が相違する用語の扱いは、次のとおりとする。これを分科会で伝える。

a) インターフェイスシステムLOCA（IS-LOCA） 原子炉冷却系材圧力バウンダリと、それと直結した格納容器外の低圧系との隔離に失敗した場合に、原子炉冷却系の圧力が低圧系に付加されるために発生するLOCAをいう。この事

故で炉心損傷事故に至ると、燃料から放出された放射性物質が格納容器をバイパスして環境へ放出される可能性がある。

- b) 格納容器バイパス 燃料から放出された放射性物質が格納容器雰囲気を経由することなく環境に放出される事象をいう。

3.1.3 適用範囲及び引用規格 レベル2PSAの適用範囲の記載内容をレベル1PSA標準と整合させる。

- a) 適用範囲 レベル1PSA標準の記載内容と同じトーンにする。これに対応して、解説を追加する方向で検討する。
- b) 引用規格 レベル2PSA標準で、レベル1PSA標準を引用するかどうかについては、
レベル1PSA標準：レベル1PSA標準は、未だ発行されたわけではないので、引用不可能。
レベル3PSA標準：レベル3PSA標準も策定中であるため、引用不可能。

3.2 レベル2PSA標準の検討

3.2.1 標準本体の内容 それぞれの委員から標準案に対するコメントが10件程度提出され、討議して標準の修文を進めた。

- a) 記載の適正化 標準本体の不明瞭な表現を修文した。主査にてとりまとめ、委員に修正版を送付する。次回会合（7月13日）で、討議。
- b) 新規追加 定義に「エナジェティック現象」を追加する。

3.2.2 解説 解説の充実のため、次の処置をする。

- a) 放射性物質のグループ ソースターム解析の本体を受けて、新たに解説を追加し、放射性物質のグループ化を記載する（本体のソースターム解析を受ける）。これは、レベル3PSA標準策定との歩調を合わせたもの。
- b) エナジェティック現象の分岐確率 既存の解説「エナジェティック現象の分岐確率」に、原子炉压力容器内での水蒸気爆発の項を、再度復帰させる（確率が小さいので、あえて解説する必要なしとの討議があり、解説から削除した経緯がある）。
- c) 適用範囲 適用範囲の解説をレベル1PSA標準と同様に作成するかどうか。これは、本当に必要か。

4) 今後の予定

第17回作業会：7月13日（水）13：30～17：00

以上